

事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進

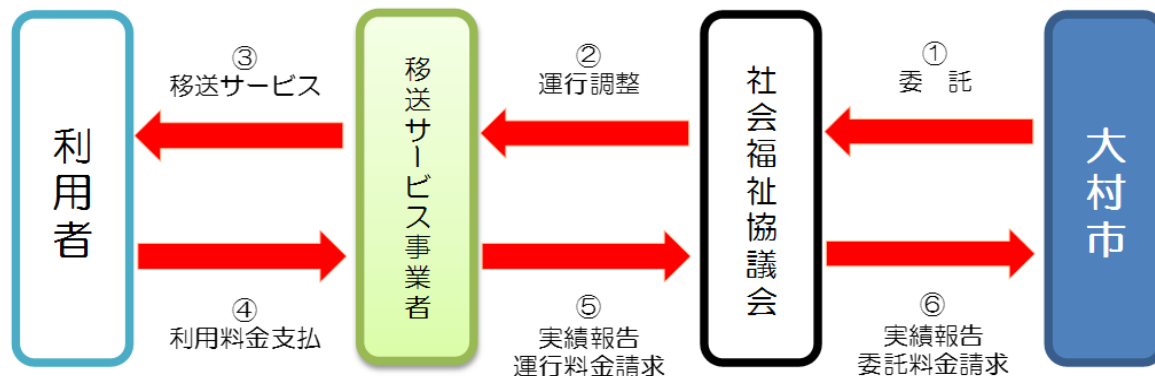
 ≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	自立支援移送サービス事業	現状維持	予算額	2,259 千円
				≪ 2,689 ≫千円
事業期間	平成18年度 ~	財源内訳	国庫支出金	565 千円
			県支出金	282 千円
根拠法令要綱等	大村市自立支援移送サービス事業実施要綱		地方債	0 千円
			その他	610 千円
			一般財源	802 千円

【事業の目的・概要・対象】

- ◆事業の目的
公共交通機関を利用することが困難な在宅の高齢者に対して外出を支援することにより、健康づくりや閉じこもり防止への繋げる。
- ◆事業の概要
地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所が作成する居宅サービス計画において、高齢者活動支援施設及び地域ふれあい館を利用する際、移送サービスが必要とされたものに対して施設利用のための送迎を行う。
- ◆対象
65歳以上の高齢者のうち高齢者活動支援施設の利用について移送サービスが必要な者。

≪自立支援移送サービス フロー≫



【背景】

高齢者活動支援施設の利用が平成13年から開始され、その利用者のうち公共交通機関を利用することが困難な在宅の高齢者に対して外出支援をすることにより、健康づくりや閉じこもり防止へと繋げるため開始された。

担当課	福祉保健部 長寿介護課	課長	角野 章子
担当者	井手 聡美	問合せ先	0957-53-8141 (内線: 89-201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	移送サービス実施回数	回	476	684	516	516	516
②							

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	移送サービス延べ利用者数	人	914	1327	983	983	983
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	2,117	1,736	2,689	2,259	2,259	2,259	13,319
国庫支出金	527	438	672	565	565	565	3,332
県支出金	264	216	336	282	282	282	1,662
地方債							0
その他	592	468	726	610	610	610	3,616
一般財源	734	614	955	802	802	802	4,709
人件費	1,013	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	6,467
職員(人)	0.12人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.87人
時間外勤務(h)	70h						70h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	3,130	2,827	3,780	3,350	3,350	3,350	19,786

妥当性 (市の関与)	市が設置する介護予防拠点施設の利用者を対象としていることから、市が主体的に事業を実施することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	移送サービスを利用する事により高齢者活動支援施設の利用が促進され、閉じこもり防止等予防効果に結びついていることから、高齢者の健康づくりの効果は高い。
効率性 (コスト)	事業受託者(大村市社会福祉協議会)において利用者の調整(相乗り)を行うなど、効率的な事業の実施に努めており、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり